



out

バラやイカ 06

neji&co. (ねじあんどこー)
ダンサー・振付家、振子びじんが主宰するカンパニー。
2020年より京都を拠点に活動する。

「バラやイカ」
バラは香りと棘がありまして
イカはつるつるとしてまして
ばらばらしてたり
つるつる泳いだり
そうしたものがここに並んでいるんで

編集・発行 neji&co.
MAIL nejiandco.kyoto@gmail.com
WEB nejiandco.com
2024年1月10日発行

nejiko. ではカンパニーマガジン「バラやイカ」を不定期で発行します。
第6号は2023年11月に、THEATRE E9 KYOTO で上演された『Out』
の上演台本を掲載します。2020年に結成された nejiko. は、コロナ禍に
おける時間感覚の変容をテーマに、これまで『Sign』『Cue』『Out』の〈コロ
ナ三部作〉を発表してきました。『Out』は三部作の最終部として制作され、
主宰の振子ぴじんが THEATRE E9 KYOTO のアソシエイトアーティストとし
てサポートを受けた三年間の最後の公演でした。『Out』は今後大きく改変を
施し、2024年2月、東京で再演されます。バラやイカ第6号には京都公演
でのみ使用された上演台本を掲載します。こちらも併せてお楽しみください。





OUT

nejico. 『Out』 京都公演

振付・演出・構成 振子ぴじん

出演 石原菜々子 (kondaba)

田辺泰信

増田知就 (ブルーエゴナク)

増田美佳

小道具

ビデオカメラ／スタンド (プロジェクターとカメラで鏡写しになった映像が後方に写る)

撮影用照明ライト／スタンド

石／マイク／スタンド

スクリーン (コンパネ／ベニヤ、ターポリン)

Out 標識 × 3

iphone (映像用)

プロジェクター

カップラーメン (舞台上でつくる、食べる)

スモークマシン

時計 (三倍速)

キッチンタイマー

炊飯器 (舞台上で米を炊く)

米

養生シート (ターポリン、スクリーンも兼ねる)

白布

電気ケトル (お湯を沸かす)

体温計

検査薬

卵

ペットボトル (中身を飲む)

割り箸

耳栓

譜面台

コンプレッサー／ホーン

振動スピーカー (客席)

覚書

パフォーマンスは焦らず、充分に間をとって進行する

沈黙をテキストとテキストの橋渡しにしない

降って湧いたように動く、話す

モノローグは、自分の出番になったら出てきて話す、のではないように

生声／マイク／録音



○シーン1 外

―スクリーンに戦争の映像（逆再生）

―拍手の輪が客入れ前から続いている

―パフォーマーはアクティングエリアを出たり入ったりする

拍手、止まる（呼吸）／輪に戻る、白布をかぶる、椅子に座る（逆回り）、出る／入る、

With コロナステップ（観客の視線をパフォーマンスに集中させないように、出入りを使う）

音響・呼吸、拍手、手拍子、ハミング、低音、おーい／はい

―開演時間になったらハミングが鳴る

―ハミングに乗ってクライマックスへ

―クライマックスが収まっていく

―音が止むと鼻歌だけが残っている

○シーン2 本番〈増田〉

―誰かに話すのでもなく、独り言でもなく

今日が本番ですね（あ、今日も本番ですね）。

もう、これは、稽古ではないですね。

我々はパフォーミングアーツを作って上演します。便宜的に、あくまで便宜的に言いますが、本番と、本番のための練習、稽古があり、稽古は本番のための稽古で、稽古は本番ではありません。つまり、稽古は本番のために、やり直しがきくというか、途中で止めたり、一部分を何度も繰り返したり、できます。トライアンドエラー。本番はできません、本番なので。でも稽古も、厳密に言えば、というか、本当は、稽古に限らず、やり直したり、同じことを繰り返すことは、できません、当たり前ですが、起こったことは起こったことで、起こったことを、なかったことにはできません。だから、出来事ということ言えば、稽古も本番も同じです。つまり、私たちが言うところの、稽古も、本番も存在しません。でも、ここでは便宜的に、言います。本番です。本番中です。今、トライアンドエラーする時間ではありません。…トライアンドエラー、してる時間、あります？時間、あんなないんちゃいます？というか、今まで何してたん？何年も、何十年も、何百年も、失敗して、反省して、やりなおして、前進してたかと思えば後退して、三歩進んで四歩下がって一歩進む、みたいな、いや進んでへんし！、というか、最初から動いてへんし。…もしかして、ちよつとずつ進んでるんやろか。昔よりは、少しはよくなってる、マシなってるんやろか。本番に向けた稽古、トライアンドエラー、あ、本番やりながら稽古するタイプのやつか。あるダンサーが、言っていた、踊りは、本番をやらないと上手くならない。本番。

ここから声を発する、ここで発した声はあそこには届かない、ここは、あそこから遠く、遠く離れている、ここは安全で、自由が保証されている、人々が、声を発することで、生命を脅かされる危険はなく、その安

でも、そこ開けんらんし、な…

―体を運んで外に出そうとする、扉を開けようとするが、やめて戻る

あ、あ、あ、あ…（ハエを目で追いながら）

―声が生声↓マイク↓録音になる

―ハエを目で追いつつ、人間の体を抜け出しハエになる

―扉から外に出てまた戻ってくる

―声が録音↓マイク↓生声になる

―ハエを潰す

―ハエを潰した手の音の残響がマイクで拾われて響きわたる

○シーン3 100年経ったら〈石原〉

―誰かに話すのでもなく、独り言でもなく

この劇場、THEATRE E9 KYOTOは、京都に100年続く小劇場を、のかけ声とともに、2019年6月22日に開館しました。今日は、2023年の11月17（18、19）日は、開館から4年と4ヶ月と26（27、28）日目、開館から100年後の2119年6月22日までは、あと95年と7ヶ月と5（6、7）日あります。100年という時間は長いようでいて短くて長く、100年後の未来を想像することは難しいようでいて簡単に難しい。100年後の未来に私たちは生きていないので、私たちは100年後の未来を想像することしかできません。100年後。100年後を想像するためには、今から100年前に戻らなくてはなりません。今から100年前は1923年、日本は大正時代です。大正時代、1923年から現在まで、世界はどのように歩みを進めながら変化してきたかを振り返ることなしに、100年という時間を想像することはできません。

〈増田〉

テレビの発明、ベニシリン発見、ジェットエンジン開発、原子力爆弾発明、人工衛星打ち上げ、有人宇宙飛行、月面着陸、エイズウイルス発見、インターネット普及、ヒトゲノム解析完了、iPS細胞、open AI

〈美佳〉

朝鮮人虐殺、満州事変、第二次世界大戦、パレスチナ紛争、ベトナム戦争、湾岸戦争、地下鉄サリン事件、アメリカ同時多発テロ、ビン・ラディン殺害、ウタライナ侵攻、安倍晋三銃撃、パレスチナイスラエル戦争、昭和三十九年、世界恐慌、ピース発売、自由民主憲法制定、東京オリンピック、大阪万博、日航ジャンボ機御巣鷹山墜落、チェルノブイリ原発事故、ベルリンの壁崩壊、ソ連崩壊、フーチョン当選、リーマンショック、福島第一原発事故、マイケルジャクソン死亡、セウォル号沈没、東京オリンピック二回目

全が、特権であると、自覚できるほどに余裕があり、その責任が、自身に課せられていると、思い込めるほどに傲慢であり、それでも、なお、それでも、なお、ナイーブを承知で、今から、言葉を、言う（※）

―戦争反対から War is over まで、各々つぶやくように繰り返す

戦争反対：…違う、だめ、ノー

No War…なんか違う、だめ、ノー

ピース、全然違う、だめ、ノー、やめろ

War is over, if you wanted（違うメロディ、こんな歌やつけ？）とかなんとか、何度か繰り返す）

全然だめ、全然…

停戦、しろ…（繰り返し）

戦争を、やめろ…（繰り返し）

虐殺をやめろ（繰り返し）

イスラエルは、虐殺をやめろ（繰り返し）

イスラエルはパレスチナ人虐殺をやめろ（繰り返し）

※（度々挿入される、テキスト順不同）

殺すな（繰り返し）

―声がマイクから録音になる

―体は動き続けている

※（メロディーにのせて、鼻歌）

―歌の残響が響きわたる

〈田辺〉

―テキストのタイミングはランダムに使用できる

―誰かに話すのでもなく、独り言でもなく

ハエ飛んでんね、気になる？気にならん？そこ開けた方がええんちゃう？

あ、でも入ってくるか、逆に、ほな、開けんとか

―扉を開けようとして向かうが途中で戻る

匂う？匂わへん？やつはそこ開けとこか

でも、開けたところで、な…

まあ、ええか

―扉を開けようとして向かうが途中で戻る

やつば、外出しといった方がええんやろか

〈石原〉

関東大震災、阪神淡路大震災、ビナツボ山噴火、新潟県中越地震、スマトラ島沖時計、四川大地震、東日本大地震、御嶽山噴火、ネパール大地震、コロナウイルス感染拡大

つまり、100年後の未来を想像するとは、100年前の過去へ振りかぶって、100年後の未来へ向かって現在を通過する球を投げるプロセスそのもののことなのです。

―卵を拾って、スクリーンに向かって投げる

―卵がスクリーンに当たって潰れる

〈田辺〉

あ、壁

〈石原〉

人は、人間は、100年経って、かしこになったんかなー

100年経ったら、人間は、かしこなるんかなー

―壁を叩きながら話す

パンデミック、…コロナを経て、人間は、かしこなるんかなー

壁、言葉の壁、文化の壁、性別の壁、学歴の壁、人種の壁、宗教の壁、第四の壁、小一の壁、バカの壁、噴きの壁、ベルリンの壁、分離壁、メキシコ、ヨルダン川西境、ガザ、進撃の巨人、パーティーション、ビニール、アクリル板、フェイスシールド、マスク

〈田辺〉

菜々子ちゃん、起きてる？入るよ、あ（ドアに鍵がかかっている）…そろそろ出てこない？もう、お父さんもお母さんも大丈夫だから、ご飯、一緒に食べよ、いい匂いでしょ、匂いもするようになったし、…今日カレーだよ、美味しいよ、きつと…、もう誰もマスクなんかしてない、みんな外に出てるよ、お店だつて入れるし、旅行にも行けるし、だから、菜々子ちゃんも、…菜々子ちゃん、菜々子ちゃん

―壁を叩く音がリズムミカルに響き渡る（生音↓録音）

―壁の音に合わせて各々のステップを踏み始める

○シーン4 With コロナ（テキスト順番・増田↓美佳↓田辺↓石原）

―全員がステップを踏み始めたら、壁を叩く音フェードアウト

―使用曲「E9」『1234』

2020年1月6日 中国 武漢で原因不明の肺炎

1月15日 日本国内で初めての感染確認

1月30日 WHO「国際的な緊急事態」を宣言

2月3日 クルーズ船ダイアモンド・プリンセス号 横浜港に入港 ボー（エフェクト）

2月11日 WHO 新型コロナウイルスを「COVID-19」と名付ける

3月24日 東京五輪・パラリンピック 延期決定

3月29日 新型コロナウイルスによる肺炎で志村けん死去

4月1日 安倍晋三首相 全国すべての世帯に布マスク2枚ずつ配布の方針表明

4月6日 大学のキャンパスが立ち入り禁止になり、全面オンライン授業に移行する

4月 第一波到来 ザッパーン（エフェクト） ワン

—Pestil『1234』イントロ

4月7日 第一回緊急事態宣言発令

5月4日 専門家会議「新しい生活様式」の実践例を示す

5月8日 コロナ禍俳句プロジェクト「COVID-19句」を募集する アルコール消毒液と春の水

5月31日 ずっと川沿いを走っていたが、24時間営業のジムに人会する

—『1234』イントロフェードアウト

7月22日 「Go Toトラベル」キャンペーン始まる Go To（エフェクト）

7月27日 WHO「パンデミックは加速し続けている」（エフェクト）

8月 第二波到来 ザッパーン（エフェクト） ツー

—Pestil『1234』イントロ

10月2日 ナルドドランが大統領が新型コロナウイルスに感染

10月9日 罹患後のためか発語の表出少なく、歩行では膝折れあり

—Pestil『1234』イントロフェードアウト

12月15日 「Go Toトラベル」全国一時停止へ Go To（エフェクト）

2021年1月 第三波到来 ザッパーン（エフェクト） スリー

—Pestil『1234』イントロ

1月15日 新型コロナウイルス1年 収束の兆し見えず

1月27日 太々しくは僕にはふさわしくない（笑）

2月17日 新型コロナウイルスワクチン先行接種始まる

4月 第四波到来 ザッパーン（エフェクト） フォー

4月5日 コロナ禍俳句プロジェクト「COVID-19句2021」をまた募集する

出荷先定まらぬまま牡蠣育つ

7月 第五波到来 ザッパーン（エフェクト） ファイブ

7月23日 東京五輪開幕

8月8日 東京五輪閉幕

8月12日 「東京の感染拡大 制御不能な状況」

8月16日 肺の熱を冷ます漢方を探す

8月24日 IN95とかKFM4のマスクがいいと友人に教えてもらう、彼女はマスクを洗って使っている

8月25日 台湾 新型コロナウイルス 3ヶ月半ぶり新規感染者ゼロ オー（エフェクト）

ザッパーン（エフェクト）

2023年5月5日 WHO 新型コロナウイルス緊急事態宣言を終了

5月8日 新型コロナウイルス 5類へ移行

6月 第九波到来 ザッパーン（エフェクト） ナイン

10月5日 コロナ給付金 性風俗業は対象外「憲法に違反せず」 東京高裁

10月7日 イスラエル軍とハマスが武力衝突

11月7日 上演台本が出来上がる

パンデミック、コロナを経て、人間は、かしこなるんかなー

○シーン5 今まで／増田／

—途中へー、ほー、などの相槌、所感をほさむ、お湯を沸かす

宇宙、：宇宙、バン！ビッグ、バン！：まず、宇宙ができました。ビッグバンから：138億年。太陽系ができてから50億年。地球ができてから46億年。人類が誕生してから700万年。文明が起こつてから5500年。キリストが生まれてから2023年。コロンブスアメリカ大陸発見から531年。黒船来航から170年。終戦から79年。阪神淡路大震災から28年。その時、私はまだ生まれていません。私が生まれたのは1998年の5月31日。私が生まれてから25年。福島第一原発事故から12年。アトリエ劇研がなくなつてから6年。THEATRE EN KYOTOが出来てから4年。コロナウイルスの感染が確認されてから3年。ロシアがウクライナに侵攻してから1年。ハマスとイスラエル軍が衝突してから1ヶ月。11月になつてから17日（18日、19日）。小屋入りしてから5日（6日、7日）。今日になつてから19時間（15時間、15時間）。上演が始まつてから：、壁に卵がぶつかつてから：、お湯を沸かし始めてから：7分？お湯が沸いてから：3分？（その場にあるもので時間を測る）——から1分、——から1分、——から1分、——から1秒

息を吸つてから：、息を吐いてから：、息を吸つてから：、息を吐いてから：、

—呼吸をしている

—呼吸音 生音↓マイク↓録音

—呼吸を置き去りにした体が立ち去る

○シーン6 今から／美佳／

—呼吸をしている

—呼吸音 録音↓マイク↓生音

—途中、へー、ほー、などの相槌、所感をほさむ

ライトの光が向こうの壁に届くまで0.00000003秒。私が声を発してから一番後ろの客席に届くまで0.02秒。卵を手に取りうと思つてから、手に取りうとし始めるまで0.5秒。時計の秒針が一周するまで20秒。お湯が

8月31日 日本一日の死亡65人 重症3116人 19日連続過去最多 アー（エフェクト）

9月11日 ワクチン2回目接種、少し頭痛あり

9月19日 まだ気の緩みと言われる、空気感染じゃないのか

11月1日 東京都 新型コロナウイルス新規感染確認が1年5か月ぶりに一桁 オー（エフェクト）

—Pestil『1234』イントロフェードアウト

—心音再生

11月2日 エコーで3日くらいのが体が手足を動かしているのを初めて見る

—心音フェードアウト

11月27日 新型コロナ「オミクロン株」懸念される変異株に指定

2022年1月22日 東京都 新型コロナウイルス1万1227人 感染確認初の1万人超え

2月 第六波到来 ザッパーン（エフェクト） シックス

—Pestil『1234』イントロ

2月2日 東京都 一日の感染者数初の2万人超え

2月24日 ロシアがウクライナに侵攻する

4月13日 感染確認 世界全体で5億人を超える

5月12日 昨年延期になつた公演を上演した

5月14日 北朝鮮 一日17万人以上発熱 キム総書記「建国以来の大動乱」

5月16日 怒りは怖れと表裏一体

—Pestil『1234』イントロフェードアウト

6月24日 打ち上げ中に出演者からコロナ発病の知らせ、翌日演出家も発病

6月30日 性風俗業へのコロナ給付金不支給は「合憲」 東京地裁

7月 第七波到来 ザッパーン（エフェクト） セブン

—Pestil『1234』イントロ

7月16日 新型コロナウイルスの感染者 11万675人 全国の一日の発表で過去最多 アー（エフェクト）

7月27日 感染確認 全国で20万人超 過去最多に アー（エフェクト）

8月5日 卒業製作の映画撮影に参加、お手伝いの1年生がマスクを預かつてくれる

8月16日 味覚10%程度回復、家から出られるまであと2日、大文字には間に合わない

8月25日 日本の新規感染者数 5週連続世界最多 アー（エフェクト）

—Pestil『1234』イントロフェードアウト

9月9日 コロナの5類への引き下げ「現時点で現実的でない」 加藤厚労相

9月30日 上演中に近隣住民から苦情が寄せられる、なるべく小さく台詞を言った

10月24日 雨の中を初めて外出した午後5ヶ月の子はビニール傘の下から雨を見ていた

11月 第八波到来 ザッパーン（エフェクト） エイト

—Pestil『1234』イントロ

12月10日 「この公演な、石原がコロナなつたらもう終わりやねん」と言われてウツとなる

12月15日 国際クルーズ船につぼん丸 3年ぶりに横浜港を出港 乗客2人が新型コロナウイルス感染

ボー（エフェクト）

—Pestil『1234』

沸くまで30秒。検査薬の結果が出るまで1分。体温が測れるまで2分。カップラーメンが出来上がるまで3分。ラーメンを食べ終わるまで5分。

—誰かがラーメンを食べ始める

時計の分針が一周するまで20分。上演が終わるまで：。上演が終わるまで：。時計の時針が一周するまで4時間。（日没まで2時間45分）。日の出まで11時間31分（15時間31分）。クリスマスまで38日（37日、36日）。2024年まで45日（44日、43日）。京都市長選投票日まで78日（77日、76日）。大阪万博開催まで513日（512日、511日）。戦争が終わるまで：。コロナが終わるまで：。娘が成人するまで17年。積立NISAのロールオーバーまで18年。還暦まで20年。福島第一原発の廃炉が完了するまで30年。私が死ぬまで：40、50年？22世紀になるまで77年。その時私の娘は78歳になっている？戦争が終わるまで：。コロナが終わるまで：。

—何かを言おうとしているが、言葉にならない

—何かを言おうとしているが、言葉にならない

経済格差拡大、エネルギー不足、地球温暖化、海洋汚染、異常気象、海面上昇、食糧危機

—何かを言おうとしているが、言葉にならない

生は有限であり、私は死ぬ。私が死んでも世界は存在し、娘は生きる。私は娘が老いる姿を見ることができない。それでも、私には、未来を想像することのできる特権がある。私は、私が老いるまで生き、そして、私が死んだあとも娘が老いるまで生きること、あまり疑いもなく想像することができる。預貯金とこれからかかる子供の学費を計算し、物価上昇と株価の変動を気にしつつ、ニュースを見ながら世界の行く末を心配したり、この国の将来を憂えたりすることのできる特権が、私にはある。：あの、大人たちのほとんどは、老いるまで生きることができない。あの、子供たちのほとんどは、大人になることができない。過去と未来が入り込む隙がないほどの現在。絶望的な、永遠の現在に生き続けることを、私の現在は、現在の私は、想像することができるか？

現在よ、現在よ、：現在は、ただの現在に過ぎない。地球は50億年後に太陽に飲み込まれてしまうという。それからさらに6億7千万年後、弥勒菩薩がやってきて人類を救ってくれる、ことになっている。

—プロジェクターとカメラが鏡合わせになる

—スクリーン消す

—ライトの点滅

—呼吸（生声↓マイク）

—全員集まってくる

—呼吸（マイク↓録音）

—呼吸を残して体が立ち去る



○シーン7 壁と椅子△増田▽△田辺▽

―呼吸音やむ

―舞台上に THEATRE E9 KYOTO の記者入りの椅子が置いてある

あ、そこ座らんとして、名前書いたあるやろ、椅子に、なんて書いてある？
○○、○○、○○…なんやこれ（書いてある名前を読み上げる）

その人たちの椅子、うちゅうこつちやな
空いてんにやからえーやん、座っても
いや、あかん、空いてるようで、空いてへんねんでーゆーこと？

そこ、座ったはんねんえ？

見えへんか、見えへんやろな、見えへんけど、座つとんにゃんか、そこに、椅子に座つとんの？

お

見えてんの？

…見えてへん

なんや

や、見えへんにやけど、座つとんねん、…せやから、そこ座ったらあかんねん
どっから持ってきたんこれ？

や、元々ここにあってん

元々あったん？なんやつたん？ここ

劇場

へ？

小劇場、やつたんかなー？

やんたんかなー、つて知らんのかい

や、劇場の椅子やろ、それ、立派な椅子や、名前も書いてあるし

劇場やつたん？ここ、へー

―舞台奥の壁に THEATRE E9 KYOTO ロビーの壁がプロジェクションされる

△石原▽△美佳▽

これは何ですかね

これは…、文字ですかね、書いてあるのは

読めますか？

なんて書いてあるんでしょうね

○シーン9 ワークショップ△石原▽△田辺▽△美佳▽△増田▽

―譜面台と台本を用意する

△石原▽

じゃあ、今からワークショップを始めます

―全員で石を手にもつ

―A B C D（石原↓田辺↓美佳↓増田）

A 100年後の風景を私は見ることができない、その悲しみ、その喜び、私はここにはいません、さようなら
B また会いましょう、さようなら、100年経ったら、また、お会いしましょう

C 行つてらっしゃい、100年経ったら、川が流れて、草が生えます、木が枯れたら、灯りが消えて、花が咲きます

D 忘れ物に気がついても、戻ってくることはできません、100年経ったら、忘れ物は、忘れてください

A 行つてきます、歩いて行くので、きつとお腹が空くでしょう

B お腹が空いたらご飯を食べて、休んでください、そしたらまた歩いてください

C 煙が見えたら叫んでください、でも、きつと、誰も応えないでしょう

D 朝になったら、陽がのぼり、夜になったら、日が暮れます

A 夜になったら、座って休みます、お湯を飲んで、眠ります

B 空には星が見えるでしょう、月を探すが見当たりません、夢も見ないで眠れるでしょう

C 焚き火が燃えているのを、動物たちが離れたところから見るでしょう

D 火は暖かく、旅の疲れをゆつくり癒してくれるでしょう

A フクロウがなきます

B ほー、ほー

C ミミズクがなきます

D ほー、ほー、ほら遠くで滝の音が

A だー

B ほら近くで川の音が

D 獣の匂い、動物たちの気配

C ぎー

A やつぱり、熊ですかね、それとも

B やつぱり、鹿ですかね、それとも

C やつぱり、猪ですかね

D 熊が山を降りていくのを、鹿が見ていました

なんて書いてあるんでしょうね

なんて書いてあるんでしょうね

何でしょうかね、やつぱ、お墓とか

やつぱ、お墓ですかね

じゃあ、これは名前ですかね

名前かもしれないね、わかりません

…なんて書いてあるんでしょうね

…なんて書いてあるんでしょうね

△美佳▽

ここで何が行われていたのか、もう誰も覚えていません。あの人の顔もあの人の声も、みんな忘れてしまった。
…あ！私の名前がそこにあります。（名前を指差す）

○シーン8 100年経っても△石原▽

あの劇場、私たちがいた、あの劇場は、あの場所に「100年続く小劇場を」のかけ声とともに、開館しました。
まだ、あの時は、私たちは、私たちが昨日から今日へ、今日から明日へ運ぶことができました。今日の私は、昨日の私の延長線上にあり、明日の私は、今日の私の延長線上にあることが、まだ、かろうじて、可能でした。
100年という時間は長いようでいて短くて、長く、100年後の未来を想像することは難しいようでいて簡単で、難しかった、です。100年経ったら、100年経ったら、私たちは、もつと、かしこなってるはずやった。つまり、100年後の未来を想像するとは、100年前の過去へ振りかぶって、100年後の未来へ向かって現在を通過する球を投げるプロセスそのもののことなのです。

―スクリーンへ向かう

今から114年前に、彼は、彼は小説家で、小説家の彼は、こう言った。

“もしここに硬い大きな壁があり、そこにぶつかって割れる卵があったとしたら、私は常に卵の側に立ちます、”

△田辺▽△増田▽△美佳▽△石原▽

…卵、物の見事に割れとんな、中身が外に、壁に、床に流れとるわ

床、養生しといてよかったね

ね、よかったね

△石原▽

100年前の現在は、100年後も現在だった。100年、100年はずっと、ただの現在だった。100年後、100年経っても、100年経っても、私はその風景を見ることができない、その悲しみ、その喜び。

A 鹿の目玉はまん丸で、月の光を反射していました
B 親イノシシの後ろに子イノシシたちが続きます

C やつぱりお母さんイノシシでしょうかね

D それともお父さんイノシシでしょうかね

A お父さんイノシシとお母さんイノシシの後ろに、小イノシシたちが続きました

B C D あー

A 闇の中イノシシ親子は歩きます

B 草木を湿らす夜露の玉は誰にも見えませんでした

C 吹き抜ける風の音は誰にも聞こえませんでした

D 柔らかに明滅する熾火の熱さを誰も知りませんでした

A 誰も見ていませんでした

B 誰も聞いていませんでした

C 誰も知りませんでした

D 誰もいませんでした

―全員、静かに目を閉じる

A : 暗闇

A もう一回やりましょうか

B もう一回やりましょう

C やりましょう

D やってみましょう

A 海です

A B C D

ザッパーン

ザザー

アアアアアアア
（などの効果音）

A かもめがいますね

B かもめはいるでしょうね

C 港でしょうか

D 港にしましょう

A B C D ポー

A おや船ですか
B 船ですね
C 汽船ですかね
D 汽船ですね

A 船から誰かが手を振っています
B 船に横断幕がかかっています
C 何か書いてありますね
D センナイジョウホウマツタクナシ

A ミンポウミレスストレス
B ガセネタオオシ
C シンコククスリブソク
D カンセンカクダイ

A (遮るように) 出航！
B C D ボー

A ；もう1回やりましょう
B もう1回だけ
C やりましょう
D やってみましょう

A ；重いですね
B そうですよ
C 置きましょう
D 1回置きましょう

―石を置く、ストレッチ、腕を揉むなど

A ；じゃ
B では
C それじゃ
D それでは

―全員で石を持ち直す

A 言葉も声も持たないがゆえに
B 石は話します
C 石は聞きます
D 声なき声を

○シーン10―A はじめに〈田辺〉

―石を置く
―読みやすいように譜面台の台本を整理する

そのままのテキストでなくても構わない
「米が炊けたら終演」つて書いてあるんですけど、まだ炊けてないんで、炊けるまでやりますね、米、炊けるまであと〇〇分、多分途中で炊けると思うんですけど、ちよつと、作品のコンセプトになってる科学の話(※)があつて(嘘)、その話をしますね；(※科学の話テキストは京都公演当日パンフレットに記載)

―そのままのテキストでなくても構わない
「米が炊けたら終演」つて書いてあるんですけど、まだ、台本続きあるんですけど、米、炊けたんで終わります、ありがとうございました。

最後に、あと1曲あるんですけど、ちよつとおっきい音出るんで、耳塞ぐか、外出るかしてもらった方がいかと；

―何度か、耳を塞ぐことと退出を促す、客が退出するのを待つ
―コンプレッサーとホーンを持つてくる

いいですか、大丈夫そうだな、つて思ったらちよつとずつ耳から手を離してもいいかもしれません；僕は耳栓しますけど、いいですか、じゃあ、最後の曲です、声は飛沫よりも遠く、遠くへ、何光年も、何万光年も、；3年間アソシエイトアーティストとして活動させてもらつてありがとうございました、100年後まで、また、劇場でお会いしましょう、ごきげんよう、出航！(声にならない叫び)

―勢いよくホーンのハンドルを開く
―全方向にゆつくり向けて音を出す
―演奏しながら大声を出す
―床にむけて近づけていき、最後床に接してしばらくしたら演奏終わり
―コンプレッサーの空気を抜く
―台本を宙に放り投げる

―礼

A 歌なき歌を

B あの日あなたが言つた言葉を覚えている
C ここから声を発する
D ここで発した声はあそこには届かない

A ここは、あそこから遠く、遠く離れている
B ここは安全で、自由が保証されている
C 人々が、声を発することで、生命を脅かされる危険はなく

D その安全が、特権であると、自覚できるほどに余裕があり

A その責任が、自身に課せられていると、思い込めるほどに傲慢であり
B それでも
C なお
D それでもなお

A 何光年も何万光年も
B 飛沫よりも遠く遠くへ
C わたしが声を発してから0.0000・・・
D コロナが終わるまで

A わたしが声を発してから0.0000・・・
B 戦争が終わるまで
C それでも
D なお

A それでもなお

B 今から言葉をいう

C 今からわたしが終わるまで

D 今からわたしが終わるところまで

A B C D (テキスト展開、スピード、出発、台本から顔を上げる)

私は100年後の風景を見ることができない、その悲しみ、その喜び
おかえりなさい、さようなら、ただいま、こんにちは、ごきげんよう
花が咲いていました、草が生えていました、木が枯れていました、川が流れていました
あなたがしたことを覚えている、あなたがいたことを覚えている

―テキスト展開、ハミング、声で音楽を展開する

―〈田辺〉を残していなくなる

○シーン10―B 最後の曲〈田辺〉

―石を置く
―読みやすいように譜面台の台本を整理する

(そのままのテキストでなくても構わない)
「米が炊けたら終演」つて書いてあるんですけど、まだ、台本続きあるんですけど、米、炊けたんで終わります、ありがとうございました。

最後に、あと1曲あるんですけど、ちよつとおっきい音出るんで、耳塞ぐか、外出るかしてもらった方がいかと；

―何度か、耳を塞ぐことと退出を促す、客が退出するのを待つ
―コンプレッサーとホーンを持つてくる

いいですか、大丈夫そうだな、つて思ったらちよつとずつ耳から手を離してもいいかもしれません；僕は耳栓しますけど、いいですか、じゃあ、最後の曲です、声は飛沫よりも遠く、遠くへ、何光年も、何万光年も、；3年間アソシエイトアーティストとして活動させてもらつてありがとうございました、100年後まで、また、劇場でお会いしましょう、ごきげんよう、出航！(声にならない叫び)

―勢いよくホーンのハンドルを開く
―全方向にゆつくり向けて音を出す
―演奏しながら大声を出す
―床にむけて近づけていき、最後床に接してしばらくしたら演奏終わり
―コンプレッサーの空気を抜く
―台本を宙に放り投げる

―礼

nejiko. 『Out』 京都公演

振付・構成・演出 振子ぴじん

出演 石原菜々子 (kondaba)

田辺泰信

増田知就 (ブルーエゴナク)

増田美佳

舞台監督 脇田友 (スピカ)

照明 脇田友 (スピカ)

倉地澄人

音響 mizutana

宣伝美術 持木永大

記録写真 脇田友 (スピカ)

日時 2023年 11月17日 (金) 18時開演

11月18日 (土) 14時開演

11月19日 (日) 14時開演

会場 THEATRE E9 KYOTO

主催・企画製作 nejiko.

共催 THEATRE E9 KYOTO (一般社団法人アーツシード京都)

協力 HAPS' FIGYA' ssud

助成 公益財団法人セゾン文化財団

京都府文化力チャレンジ補助事業

京都市「Arts Aid KYOTO」補助事業

THEATRE E9 KYOTO 第2期アソシエイトアーティスト



フランクフルトイグイトキョウト

ドイツで開催されたTHEATER DER WELT 2023。
市原佐都子演出『弱法師』に出演するため、畑中良太はフランクフルトに二週間滞在し、人生初となる海外渡航を経験した。

出発日 7月3日

今日の夜に羽田空港からドイツに出発する。共演する人と一緒に行くけどめっちゃ不安。海外ではスリとかがよくあるって聞くし、滞在するフランクフルトって場所は治安が悪いつてネットで調べたら書いてた。空港は特に気を付けないといけないらしい。一応リュックに南京錠をつけて貴重品は小さいポーチに入れて服の中に隠した。いつもより大きいスーツケースを持って新幹線に乗る。窓から真っ赤な夕陽が地平線の向こうに沈んでいくの見える。不安。

羽田空港の国際線第3ターミナルに着いた。すでにけっこう色んな国の人がいる。僕が乗るのはカタル航空の飛行機やねんけど、チェックインの時に受付してくれる人がすでに海外の人で英語しか通じなかった。そういえばさっき空港で食べたお好み焼き屋も、セブンイレブンもクレジットカード受付も海外の人やったなあ。搭乗手続きを済ませて、あとは飛行機が来るのを待つだけ。自販機で水を買ったときに、リュックを地面に置いて財布を手持ったとき、荷物から注意が離れたことに気づいた。こういう時にひたくりされるんやなあ、海外に向けて警戒心を高めようと思った。

乗り継ぎで止まるドーハ空港に着いた。羽田空港を1時出発で、乗り継ぎで止まるドーハ空港には現地時間の6時に到着って航空チケットに書いてあって、そんなに時差無いやろうし8時間くらいで着くだろうと思ってたけど11時間くらい飛んだ。いま僕が東京にいたらお昼頃なのに、まだ6時なのがとても不思議で少し時間を得た気分になった。シルバニアファミリーのつかい箱を抱えて降りていった中東系の顔立ちした人がなんか良かったなあ。日本にわざわざ買いに来たのだろうか……

無事にドイツに着いた。初めての入国審査緊張する。入国する目的、誰と来たか、滞在する日数を聞かれた。思ったよりすぐ終わった。フランクフルト空港の中はともてシンプルだった。空港ではスリに気を付けるってめっちゃネットに書いてたけど、そんな危ない感じもなかった。

タクシー乗り場でタクシーに乗る。運転手の人はめっちゃ強面やった。普段ドイツ語を話してるからなのか、英語の発音がめっちゃ良かった。ちよつと怒ってる？みたいな発音の仕方だった。あんまり笑わない人。日本人の人もけっこうよく来るねんって言うてはった。ホテルに着いて荷物を下ろしてくれる時はすごく丁寧だった。めっちゃ笑顔でお会計してくれはった。実は優しい人やった。関西のおっちゃんみたいだった。京都にもこんな感じの人はいるわ。

受付は機械でチェックインする形式なのでそんなに苦労せず手続きが終わった。ホテルでちよつと休んでからその辺を散歩することにした。土地勘がないので適当に歩く。ホテルの近くの地下鉄はちよつと治安が悪そう。おしっこ臭いし落書きだらけだしゴミが散らかってる。日本では見ないタイプの荒れ方。少し歩くと全く雰囲気が変わって、ビジネス街っぽい場所に来た。東京の丸の内っぽい雰囲気。だけど少し細い路地を進むと公園があるし、道中にも木がたくさんあって、自然と共生してる感じがする。公園の中には売店があつて、色んな人がビール飲みながら談笑してはる。

ドイツの川の近くも歩いた。この川はめっちゃ大きくて、ボートとかに乗って快適に進めるくらいでかいし流れも急だし深そう。ベンチに座ってビール飲む人、芝生で寝転ぶ人、スケボーしてる人、ダンスしてる人、など色んな人がいた。大きな規模は違うけど、人の過ごし方は鴨川とほぼ同じで開放的で心地よかった。初めての海外でめっちゃ不安やなあと思ったけど、意外と雰囲気京都と似ててちよつと安心した。治安が悪いエリア以外は。

ホテルに戻る時に中央駅の正面を通つたのだけど、風俗街の入り口だからか、そこだけは雰囲気違うかった。物乞いする人がいたり、信号待ちしてる人に腰振つておっさんがいたり、めっちゃおしっこ臭かった。日本というと新宿や西成的な場所か。もつと雰囲気すごいけど。

着いたばかりでなんも分からんので近くのベトナム料理屋でご飯食べた。帰り道にキオスクというコンビニ的な場所でビールを買った。店員の人はレジを打つ時以外スマホ弄ったり本読んだりめっちゃマイペースに過ごしてた。こういう雰囲気の方が僕は楽やな。日本のコンビニもこういう風になればええなあと思った。ホテルに帰ってビールを冷やそうと思つたけど冷蔵庫がなかった。冷やさず常温でビール飲んだけど美味しかった。さすがドイツ。

四日目 7月6日

今日はオフの日なのでハイデルベルグでも行こうかと思つたけど、起きたら13時ごろだったので心が折れてあきらめた。とりあえず近くのどこかに行くことにした。月曜日は美術館などは閉館してるらしいので、今日のうちにに行くことにした。ドイツ映画博物館というのがなんとなく気になつたので行くことにした。目の錯覚についての展示、画像が動いて見える原理、映画の三つのエリアに分かれていた。円盤上の歪んだ画像の真ん中に円筒状の鏡があつて、鏡には歪む前の画像が見えるってヤツ。グラスを覗き込むと立体に見えるヤツ。など静止画の錯覚から始まり、パラパラ漫画とか、画像が素早く動く動画に見える錯覚。初期の映画。スライウオーズとか現代の映画に関する展示などがあつて、思つたより楽しかった。けどすぐ飽きたので長居はしなかった。

暇で行きたいところもないし劇場で公演を見ることにした。海外で観劇するのが初めてなので、これがドイツの劇場かと少し感動した。ロビーの方でプレツェルと酒が売られてた。これがドイツ。観客がすごい興味深かった。プレツェルをかじりつきながら観てる人や、サングラスの端っこの方を舐めたり囁んだりしながら深く考え込めるのか退屈なのか分からない表情で観てる人がいたり、酒を飲みながら観てる人がいたり。物を食べながらとか、酒を飲みながら、お互いあまり気をつかわずに気軽に観劇できる環境つていいなと思った。日本の劇場もこんな雰囲気になればいいのになあ。

昨日と同じ店でカリソーゼージ食つた。おいしかった。

五日目 7月7日

ギリシャ料理の店というのが気になつたので、稽古が終わってから食べに行つた。ショッピングモールの中にその店があつた。味は、うん普通だった。日本でも食べれそう。ショッピングモールの中にフィギュアとかアニメ関係のグッズが売られてる店があつた。アニメイト的な。色んなアニメや漫画のフィギュアとかポスターとかキャラクターグッズが飾られていた。呪術廻戦や進撃の巨人やナルトなど、どれも日本の漫画ばかりでビックリした。日本はもう衰退したと思つたけどまだまだ影響力を持ってるんだなあ。海外で日本の漫画とかが人気なのは本当なんだなあと思身で感じた。

地下鉄の中で自撮りの動画撮つてめっちゃ騒いでる酔っ払いグループがいた。日本やと、こういう場所では静かにしないといけないってなるけど、ドイツではなんでもありやな。他の乗客の人も気にしてない様子だった。

ドイツの地下鉄は駅の改札がない。切符売り場はある。定期的に車掌の人が電車の中を見回りに来て、切符を持てない事がバレたら罰金を取られるらしい。僕はほぼ毎日地下鉄に乗つてたんだけど、車掌の見回りに遭遇した事はなかった。犬を連れてる人や、自転車を持ち入れる人もいて、本当になんでもありな雰囲気だった。

二日目 7月4日

今日は朝の9時に劇場へ行かないといけない。一番近いルートが、治安の悪い風俗街を通る道筋なんだけど、朝だし大丈夫やろうと思つて通つたらけっこうヤバかった。注射打つてる人とか、見えない人と喋ってる薬物中毒っぽい人もたくさんいるし、吐こうとして立ち止まつてじっとしてる人もいるし、座り込んでたむろして怪しいピンを持つてる人もいるし、なによりも臭いがすごい。おしっこ臭さをキツくして化学的な何かをまぶしたような匂い。人はいるけど人通りがほとんどない。治安の悪さが西成とか新宿の比じゃない。その道を歩いてたら知らんおっちゃんにリュックのチャックも開けられたし。目があつた瞬間に逃げていったけど。(そのつもりで貴重品は入れてなかった。)ナイフで後ろから刺されてもおかしくないなあと思つた。そこには近づかないようにしよう。

劇場着いて稽古終わってから、まだ早い時間なので散歩することにした。昼休みにスタッフと話してて、コンスタブラバットというところが烏丸御池みたいだよと言われたので、そこに行くことにした。

コンスタブラバットというところに行く途中にレーマー広場という場所があつた。フランクフルトの観光地の中でも有名ならしい。なんか僕の思うザ・ヨーロッパという感じだった。

道中で見かける建物が、京都でよく見る明治時代や昭和初期のモダン建築に似ているなあと思つた。明治時代に日本はドイツを参考にして憲法を作つたり建物を建てたりしてたんだなあという事を肌身で感じた。ドイツに来て、日本はドイツの影響を受けて憧れて育つてきたんだなあという事を感じた瞬間だった。

コンスタブラバットは烏丸御池そのまんまだった。京都の四条みたいなどこにでもある街だった。

ドイツ料理の店でビールとソーセージ食べた。ソーセージは味が薄くてそんなに美味しくなかったけど、一緒についてたポテトを潰したやつは美味しかったしビールもうまかった。





六日目 7月9日
稽古終わりにリップヒエンというフランクフルト名物を食べた。豚肉を焼いた料理だ。アップルワインも飲んだ。京都に帰ってえ。

七日目 7月10日
今日はオフの日なので劇場に公演を観に行った。この日の夜に観た作品がかなり印象的だった。一番最後に政治家役の人が演説するシーンがあって、最初はいい事言ってるんだけど、喋ってるうちに内容が段々と独裁じみてきて、ヒトラーを彷彿とさせる身振りになっていく。これに対する観客の反応が興味深かった。紙をくしゃくしゃにして舞台に投げたり、肩を組んで歌を歌い出した。中指を突き立てて席を立ったり、何かしらのアクションを起こす人が多くて、劇場内がデモ活動のような異様な空気になっていた。現代の日本の劇場ではこんなこと絶対に起きないから衝撃的だった。政治に参加する事と劇場の座席に座って観劇する事が、向こうの人々にとってイコールなんだと思った。



八日目 7月11日
今日が小屋入り初日。
劇場に入って楽屋でボーとしてると、劇場の衣装担当の人が挨拶しにきた。不意打ちだったのでビックリしたし、そんな役職があるのもビックリした。毎日衣装を洗ってくださるらしい。ありがたすぎる。この劇場には大道具や小道具専門のスタッフもいて、そういった類の物を作る専門の工房もあるらしい。僕が出演する今回の作品は人形を扱っている。それらはとても繊細で稽古中に不備が起る事もあるので、劇場の人に調整を手伝ってもらったりしていた。やっぱりドイツの劇場はすごいなあと思ったけど、この劇場が特別らしい。どこにも工房があったり、どのスタッフも親切というわけでは無いらしい。

九日目 7月12日
十日目 7月13日
劇場でのリハで忙しかった。

十一日目 7月14日
今日が公演初日。21時から本番。夜公演なので劇場入りまでめちゃくちゃ時間がある。こんな時間に公演するのは初めてで落ち着かないから、出かけることにした。
ドイツの公園に行った後、古着屋をフラフラと見て回った。ドイツの公園に行った感想はなんもない。日本の希望ヶ丘って公園と雰囲気似てた。町の中にこういう広くて自然がある憩いの場所があるのは良いことだなあ。古着屋もあまり日本と変わらなかった。ちよつと安かったりするかなあと思ったけど、むしろちよつと高かった。すごい変わった服とかあると思っただけだなあ。ベルリンとか行けばもっと良い店あるんかな。それとも京都の古着が充実しているのか……..
カント通りヘーゲル通りという道があつてちよつと興奮した。

劇場に行つて公演の準備してたら劇場スタッフの人達にお菓子もらった。ドイツでは公演の初日が一番おめでたい日らしくて、ちよつとしたお菓子とかを送り合う習慣があるらしい。全然知らなかった。

初日の公演が問題なく終演した。楽屋に戻ると外で人が話してる声がめっちゃ聞こえる。楽屋の窓の外にはベンチと広場があつて、そこにいる人達の声みたいだ。ほぼ毎日そこを通つてただけけど、曜日関係なく誰かがいつもビールを飲んで議論を交わしていた。何かの公演がある時はたくさん人がいて、作品の感想や意見を熱心に語り合っていた。僕達の出演してる作品もドイツの土地で熱心に意見が交わされてるんだなと思うと少し誇らしかった。その事を肌身で感じたので、漏れてくる声が楽屋に聞こえてくるのはとてもいい時間だった。



十二日目 7月15日
公演二日目。上演が夕方ごろからなので、劇場入りまで微妙に時間があるから落ち着かない。今日は定期的に開催されている蚤の市が近くにあるみたいなので、行ってみることにした。出品してる人によって商品の質が違いすぎて興味深かった。ポロポロのコードとか壊れたラジカセとか使いかけの化粧品とか売れるのか分からへんようなものを出品してる人が何人もいた。デコられたカメラとかCDとかそういう類の盗難品っぽい香りがする物を売ってる人もいて少し怖かった。腕時計や骨董品や貨幣を売ってる人もいたし、色んな人の色んな国籍の手紙を売ってる人もいた（どこで手に入れたんや？必要はあるんか？日本にも蚤の市はあるけど、商品の幅が広くて、この混沌とした感じはここならではのやなと思った。木彫りの牛の操り人形みたいなのが妙に可愛いくて気になって買ってしまった。40ユーロだった。Very old it's an antique ってその人が言つてはった。嘘やろと思つたし値切る事もできたけど、めっちゃ可愛いしええかと思つて、その値段で買った。作るのに手が混んでそうだしワンチャンそんなの価値あるかもしれない。



二日目の公演も無事に終わって、僕らが参加してる演劇祭のクロージングパーティがあるので行く事にした。僕達は明日も公演あるけどな。
会場のトイレがジェンダーレストイレじゃなくて男女専用トイレってのがなかった。入るのにちよつと躊躇した。恥ずかしいとかではなく、入って異性の人に驚かれたりしないかなという謎の不安。同じトイレに異性の人がいるという状況はとても不思議だった。ドイツは混浴が当たり前らしくてヌーディストビーチもあるらしい。あまり詳しくは知らないけど、Frei Körper Kultur、英語に訳すとFree Body Cultureとから思想らしい。そういうのが根付いているから成立してる部分もあると思う。日本の文化圏やつたら男女専用トイレも作つて欲しいって思うやろなあ。
お腹がめっちゃ空いたので近くのケバブ屋に行った。20cmくらいのヤツだろうと思って頼んだら50cmくらいのが来た。安くて美味しいけどデカすぎや。コスパはめっちゃいい。半分くらいホテルに持ち帰った。

十三日目 7月16日
公演三日目。朝ご飯食べて劇場入って、無事に全公演終了。片付けして劇場の人に挨拶して、食堂でビール飲みながら全体の打ち上げまで待つ。瓶ビールで瓶ビールの栓を開ける方法を教わった。僕は栓抜き以外だと、カラビナで開ける事は出来るけど、このやり方は知らなかった。けつこう難易度高いけど、教えてくれた人は一瞬で開けていた。さすがドイツの人。時間かかったけどなんと僕も開けることができた。外のベンチでドイツ語しか話せない劇場スタッフの人と日本語しか話せない僕でビール飲みながら話した。お互いに拙い英語で話してる時間がなんかよかった。
スタッフ達と合流してハンバーガーの店で打ち上げた。ドイツビール飲みながら食べるハンバーガーめっちゃ美味しかった。ドイツのハンバーガーは食べ応えあるなやつぱり。



十四日目 7月17日
朝起きて新幹線に乗る。周りが日本人だらけなことになちよつと安心感と驚きがあった。日本は島国で特殊な環境なんだと再発見した。接客のアルバイトとかしてて、日本語が話せないお客さんが来た時に少し動揺したり、ちよつと面倒くさいなあって思つてしまう自分がいる。それって良くない事なんやけど。
ドイツはそういう雰囲気が無かった。僕は英語があまり話せないけど、向こうの人は意欲を汲み取ろうとしてくれる。色んな国籍の人が住んでる町っていうのもあるのかもしれないし、出会った人がたまたま親切だっただけかもしれないけど。これから先、コロナとかが落ち着いて海外の人と接する機会も何かと増えるだろうし、言葉が通じなかったとしてもちゃんと関わりうという意志を持つと思う。

